

こども広場ワンダーステップ 支援プログラム(2024.08.01)



法人理念： Wonder!につながろう
支援方針： いつでも子どもが主人公！

環境調整

時間や空間をわかりやすく構造化する（健康・生活）

感覚の偏りに対する環境調整（運動・感覚）

安心できる環境・態度（認知・行動）

コミュニケーションできる環境の整備（言語・コミュニケーション）

モチベーション

子どもが「やりたい！」と思う気持ちを育てる

健康・生活

- ✓ 体の状態への意識
- ✓ 手指の動き

運動・感覚

- ✓ 全身運動
- ✓ ボディイメージ

認知・行動

- ✓ 感覚の交通整理
- ✓ 感覚を言葉で表す

言語・ コミュニケーション

- ✓ コミュニケーション
- ✓ 読み・書き
- ✓ 言葉の表現
- ✓ 言葉の理解

人間関係・社会性

- ✓ 対人関係
- ✓ 気持ちの切り替え
- ✓ 見通しを持って行動する
- ✓ 自信
- ✓ 自己理解
- ✓ 集団参加

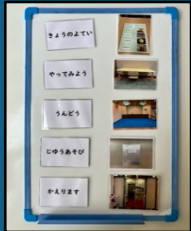
本人支援

支援の例

環境調整

スケジュールボード・

タイムタイマー



スケジュールや時間は、目で見えてわかりやすくしています

動作がしやすい環境設定で、「ボクはイスではけるよ」とやる気 up!

靴をはく時の椅子



プレイスペース・個別スペース



運動する場所・課題をやる場所・自由遊びの場所などを分けて、目で見えてわかりやすくしています

モチベーション

自由時間は自分で選ぶよ



自由時間にやることは、写真アルバムの中から自分で選びます

粗大運動のプログラムも楽しく、自分からやれるように工夫。やりたいという気持ちを大切にしています。

壁に描くのって楽しい!



工夫してやってみようね



やりたいと思ったら、うまくいかなくても、何度も工夫してできるよ! やる気が達成感や感情コントロール、実行機能、手指の巧緻性などに繋がります

支援の例

本人支援

個別の発達支援をメインに行なっています
公認心理師・臨床心理士・作業療法士・保育士などがお子さんの特性を把握して、オーダーメイドの個別支援計画・専門的支援計画を作成しています。下は内受容感覚の発達支援の一例です。

健康・生活（健康状態の維持・改善）

発達の凸凹があると身体内の感覚に気づきにくいことがあります
（空腹・満腹に気づきにくい、痛みに気づきにくい、など）。
身体内の感覚に意識を向けると同時に、健康を維持する上で必要な力を他のスキルで補うことができるように支援します。

発達の状態

疲れるとイライラしたり、抑制がきかなくなったりする

支援方法

イライラなどの時に、「疲れたね」と代弁する・ゆったりできる活動にする

発達の状態

具体的に聞かれると自分の状態に意識を向ける

支援方法

「暑くてぐったり？」など答えやすい言い方で声をかける

家族支援

個別の発達支援なので、ご家族の相談にもオーダーメイドで対応します。発達支援の様子を見ていただき、家庭での対応を保護者の方と一緒に考える・在籍園・在籍校での支援についてのご相談・ご兄弟・お祖父さん・お祖母さんのご相談、など、状況に応じてできる形でご家族の支援を行なっています。
個別支援計画の作成についての面談（モニタリング）は少なくとも半年に1回行います。

移行支援・地域連携

- 就学・進学にあたって、お子さんに必要な支援を保護者の方と一緒に考える、相模原市生活支援プラン（まっぷ）の作成、お子さんとの進路選択の相談などを行なっています。
- 保育所等訪問支援でお子さんが在籍していることも園・学校などを訪問してお子さんのご様子を見たり、先生方と情報交換を行なっています。

